

八戸市立根岸小学校

創立71周年



根岸小父母と教師の会 創設71周年



ベルマーク委員会 (平成9年度創設)



2017/05/20



令和元年度
全校児童
383名
15学級



全員参加の根岸小 P T A 委員会

◆活動は

「無理なく楽しく少しずつ」

根岸小 P T A ベルマーク委員会

在籍人数 4 2 名

年間 1 1 回（月 1 回）

第 2 水曜日の午前中に活動

ベルマーク委員会の活動内容

- ・ベルマークの収集・整理・財団への発送
- ・ベルマークの点数換算
- ・使用済みカートリッジ、トナー回収



年間活動予定表を
5月までに配付。
参加できる時間で
だいじょうぶ。
小さいお子様同伴
もOKです。おや
つもでますよ。

ベルマークの収集方法

ベルマークだよりと一緒に先生方へお願いのお手紙と回収袋セットを配付します。

担任の先生へ

今年度もベルマーク回収へのご協力を、お願いいたします。

今年度1回目の回収は5月10日(木)を予定しております。

お手数ではございますが、回収袋に児童の名前を付けて頂き、
回収日の2～3日前にベルマークだよりと一緒に児童へ配付して頂きますようお願いいたします。

(ベルマークだより5月号は連休明けにお渡しいたします。)

お忙しいかとは存じますが、どうぞよろしくお願いいたします。

PTAベルマーク委員会



ベルマークの収集方法



回収は、5・
6・7・9・
10・11・12
2・3月の9回

かわいいスタンプ
でやる気アップ！



ベルマークの収集方法

5ねん / くみ

担任の先生へ

ベルマーク委員会

毎月の 在籍児童の人数 の記入をお願いします。(太枠内)
また、回収率アップの為、2～3日前に提出の呼びかけをお願いします。

(95%以上の回収で、表彰状を発行しています。)

	児 童 数	ベル 袋	回 収 率
4 月	35	32	
5 月	35	32	91
6 月	35	30	91
7 月	25 35	30 29	82
8 月	夏休み		
9 月	35	33	94
10月	35	1	
11月	35	33	94
12月	35	29	82%
1 月	冬休み		
2 月	35	30 29	82
3 月			

★ ご記入後、ベルマーク箱に、いれてください。

★ 中身の入ってないもの、欠席で未提出分はカウントしません。

各学級の回収率アップをめざし、先生方にも呼びかけの協力をお願いします。

95%以上の回収率で、表彰状を発行！
回収率を上げるために先生方にも知ってもらいます。

ベルマークの収集方法

回収率 2 月分

	児童数	ベル袋 (入っているもの)	回収率
1-1	35	25	71
1-2	31 32	24	77 75
1-3			
2-1	36	32	88
2-2	33	32 (x1)	100
2-3			
3-1	32	29	90
3-2	33	27	81
3-3			
4-1	30	24	80
4-2	36	24 25	66 69
4-3			
5-1	35	29	82
5-2	35	29	83
5-3			
6-1	34	33	97
6-2	34	34	100
6-3			

月ごとの全校の回収率の状況を記録し、回収率アップに向けてデータを累積。

地道な取組により、協力的な保護者の方が多い状況が続いています。

ベルマークの分類・整理方法



各家庭から回収したベルマークを分類・整理します。家庭にも切り取り方を周知し協力をお願いします。

分類はベルマークの種類別の番号が記載された製氷皿が活躍します。



ベルマークの分類・整理方法



財団への発送時まで
では種類ごとに準備
された整理棚に
ベルマークを保管
します。

ベルマークの発送準備方法



財団への発送準備
は種類ごとに点数
を数えホチキス止
めをして袋にまと
めていきます。



ベルマークの発送準備方法



ベルマーク整理袋にまとめて、あとは財団へ発送します。校名などゴム印を利用します。

学校給食用紙容器のリサイクル ベルマーク点数発行について



The screenshot shows the homepage of the Japan Tetra Pak Bellmark Campaign. At the top, there is a navigation bar with links: TOP, Japan Tetra Pak Bellmark Campaign, Tetra Pak dedicated recycling box request, Q&A, Collected paper containers afterwards, and Bellmark Campaign. The main content area features a large heading 'Work with enthusiasm, open, wash, and dry.' followed by instructions on how to collect and return Bellmarks. A flowchart outlines the process: 1. Register, 2. Collect, 3. Put in box, 4. Send, 5. Receive Bellmark point certificate, 6. Return certificate to get Bellmark points. A sidebar on the left contains a speech bubble about point certificates and a button for the PTA tool. A green circular badge on the right says 'Material (PDF) download here'. At the bottom, there are links for downloading the FAX form and a button for the PTA tool.

日本テトラパックの
ベルマーク運動

⇒ TOP ⇒ 日本テトラパックの
ベルマーク運動 ⇒ テトラパック専用回収箱の
請求はこちらから ⇒ Q&A ⇒ 集められた
紙容器のその後 ⇒ ベルマーク
運動とは？

資料(PDF)
ダウンロードは
こちら

点数証明書を封筒へ
送るとベルマーク預金に
加算されます。
(送り忘れにご注意下さい。)

工作気分で、開いて、洗って、乾かして。

日本テトラパックのベルマークの集め方は、マークを切り取る通常のやり方ではありません。
紙容器を開いて、洗って、乾かす。そして、乾いた紙容器をまとめて送る。
飲み終わった紙容器で工作するような、子どもたちにも楽しい集め方です。

●●●●●●●●●● テトラパックのベルマークの集め方 ●●●●●●●●●●

1 登録
する 2 集める 3 箱に
入れる 4 送る 5 ベルマーク点数証明書
を受け取る・封筒へ送る 6 ベルマーク
預金になる

日本テトラパックはベルマーク運動に参加しています。

テトラパック専用回収箱請求はこちら

⇒ FAX用紙(PDF)をダウンロード ⇒ FAX番号 03-3816-5

⇒ PTA役員様向け(学校給食用)ツール

日本テトラパッ
クのベルマーク
運動のホーム
ページ「PTA
役員様向けツール」にアクセス
し、手続きにつ
いて知るところ
からスタート。

学校給食用紙容器のリサイクル ベルマーク点数発行について

テトラパックの学校給食用紙容器
「開いて、返って、割かして」リサイクルのベルマーク点数算出表 2016年7月分

テトラパック受付センター 村 (ファックス番号: 03-3216-2259) 毎月3日までにはお返しくださる。

○一日あたりの最大パック数(児童または生徒数、添付点数を書く): () パック

※添付点数は、満点、見当、算出点数と添付と数量が異なる内容も記入してください。

日付	曜日	パック数	備考	日付	曜日	パック数	備考
7/1	金			7/16	土		
7/2	土			7/17	日		
7/3	日			7/18	月		
7/4	月			7/19	火		
7/5	火			7/20	水		
7/6	水			7/21	木		
7/7	木			7/22	金		
7/8	金			7/23	土		
7/9	土			7/24	日		
7/10	日			7/25	月		
7/11	月			7/26	火		
7/12	火			7/27	水		
7/13	水			7/28	木		
7/14	木			7/29	金		
7/15	金			7/30	土		
7/16	土			7/31	日		

7月16日 7月17日 7月18日 7月19日 7月20日 7月21日 7月22日 7月23日 7月24日 7月25日 7月26日 7月27日 7月28日 7月29日 7月30日 7月31日

7月計 0.008 キログラム/箱
キログラム(の点数第1位に切上げ)

「添付点数のテトラパックの学校給食用紙容器を「開いて、返って、割かして」リサイクル活動として、毎月3日までにはお返しくださる。

学校名: 学校番号(前): 学年: 学年番号(後): 月 日

校長(氏名): 校長(印):

給食主任の先生に協力してもらい、1か月ごとに、牛乳パックのリサイクルパック数をFAXで報告します。ベルマークの点数になって加算されます。

インクカートリッジの回収も
大きな力になっています。

すべては子どもたちの笑顔のために

ありがとうございました。

